

第19回情報プロフェッショナルシンポジウム

INFOPRO 2022

参加者募集

企業・大学・図書館の情報プロが集う最大のイベントです！

メインテーマ 学びと人材育成のニューノーマル

主催 一般社団法人 情報科学技術協会 (INFOSTA)

期日 2022年 7月 7日(木)、8日(金)

メイン会場 国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST)
東京本部別館 K's五番町 をオンサイトとしてオンライン配信

参加費 (予定) 会員 4,400 円、学生 2,200 円、一般 6,600 円
(税込み予稿集付)

聴講のみ 無料※予稿集は希望者に別途販売します。

プログラム (概要) 特別講演: 要旨は次ページをご覧ください。
OUG ライフサイエンス分科会特別セッション: 要旨は 3 ページ目参照
3i 研究会第 8 期成果発表 本広告 4 ページ目参照
一般口頭発表: URA、文献情報、知財など多数

※ プログラムの詳細は、後日シンポジウム Web サイトに掲載いたします。
<https://www.infosta.or.jp/symposium-top/>

☆☆☆シンポジウムに協賛していただける企業・団体を募集します☆☆☆

協賛特典を多数用意しております。詳しくは下記へお問い合わせください。

一般社団法人 情報科学技術協会 INFOPRO2022 事務局

〒104-0033 東京都中央区新川 1-11-14 日本図書館協会会館 6 階
TEL : 03-6222-8506 FAX : 03-6222-8507 sympo@infosta.or.jp



シンポジウム Web サイト : <https://www.infosta.or.jp/symposium-top/>

特別講演

【7月7日（木）】

学びのイノベーション ～個人が問われるダイバーシティ時代～

講師 **渡辺 美代子 氏**

国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST)

シニアフェロー



ご講演要旨

長引くコロナ感染拡大やウクライナ情勢など、予測できない事態が世界を大きく変える昨今、特に人口が激減する日本には独自の社会づくりが求められている。新たな社会をつくるのは人であり、人をつくるのは学びであるため、学びこそが大きな課題であり、そこでは個人を大切にするダイバーシティが鍵となる。今考えるべきこと、準備することは何なのか、問題提起と解決策についてお話する。

【7月8日（金）】

Infopro in the future ～インフォプロの終身成長に向けて～

講師 **中村 栄 氏**

旭化成株式会社

2016 年度特許庁長官賞受賞

【特許情報人材育成成功労者】



ご講演要旨

昨今のコロナ禍、サステナビリティ（カーボンニュートラル、サーキュラーエコノミーなど）貢献が求められる中、インフォプロを取り囲む社会環境は大きく変化をしてきている。演者の今までの経験をもとに未来におけるインフォプロの像をイメージしながら未来に求められるインフォプロの姿、これからのインフォプロに向けてのキャリアプランについて紹介する。

特別企画 第 395 回 OUG ライフサイエンス分科会

第 19 回情報プロフェッショナルシンポジウム INFOPRO2022ver.

医中誌 Web バージョンアップ

～「ゆるふわ検索」の検証～

【ライフサイエンス分科会について】

INFOSTA の研究活動グループの 1 つ OUG (Online Users Group) ライフサイエンス分科会では、重要な情報検索手段としてのデータベースをより効果的に利用するための課題解決や、データベースに関する知識向上そして検索技術を磨くための研究活動をしています。

参加者はデータベースの利用者だけでなく提供者もいますので、お互いの問題点や要望を伝えることで参加者がそれぞれの立場で改善を図ることも目的としています。

対象は医学薬学分野から広くライフサイエンス分野のデータベースですが、具体的な活動としてはデータベースの勉強会や検索演習のほか、関連サービスの紹介、著作権関連の研修、外部機関の見学会なども行っており、最近ではオープンアクセスの話題も含め学術情報全般を幅広く扱っています (活動日は毎月第 3 木曜、年 10 回程度開催。現在はすべてオンライン開催中)。

【今回の特別企画について】

特別 Ver. の 4 回目となる 2022 年の INFOPRO では、医中誌 Web を取り上げます。企業・大学・病院・公共図書館などさまざまな機関で利用されている医中誌 Web は 2022 年に大幅な画面変更しリニューアルされました。なかでも、「ゆるふわ検索」はライフサイエンス分科会メンバーにも初めての新機能で、どう使うのか、利用者案内はどうすべきか、と、疑問が湧いて尽きることはありませんでした。そのため、今回は「ゆるふわ検索」を取り上げて検証することとしました。

医中誌 Web をお使いの方、医中誌 Web を知らない方、通常の例会に参加できない方など、多くの皆様にご参加いただき、会の雰囲気や活動内容に触れていただくとともに、医中誌 Web そして文献データベースに関する理解を深め、今後の活用に役立つ機会となることを期待しています。

ライフサイエンス分科会のページに過去の開催記録や INFOPRO の資料なども掲載しています。 <https://www.infosta.or.jp/research/oug-life/>



プログラム予定

7月7日 (木)

一般発表／プロダクトレビュー
(9:40～10:20)

- J-STAGE の情報科学分野を対象としたジャーナル分析 (仮)
- ジャーナル・インパクトファクターの活用実態調査

特別講演①

(10:30～12:00)

「学びのイノベーション ～個人が問われるダイバーシティ時代～」

国立研究開発法人科学技術振興機構

シニアフェロー 渡辺 美代子 先生

一般発表／プロダクトレビュー
URA & 知財 (13:15～16:55)

- 東北大学における URA 研究力分析手法勉強会
- 高エネルギー加速器研究機構における若手教員数の推移と将来予測
- URA による研究力分析の取り組み例
- 「部局訪問」による研究力分析情報の学内共有
- サイエンスマップを活用した京都大学の研究活動モニタリング
- 中国特許ステータス精度の検証
- 知財分野における第 4 世代 AI の基礎検討
- 台風の制御技術に関する特許分析研究
- プロダクトレビュー×4

7月8日 (金)

一般発表／プロダクトレビュー
3i 研究会 & URA (9:40～13:45)

- 特許情報から見たペットボトル水平リサイクル事業の展望
- 新規就農者を増やすビジネスを考えよう
- 新人知財部員による新商品提案を目指した知財情報活用検討
- EBPM・EBMgt と研究力分析・研究戦略立案
- 研究力分析の目的とは何か
- 研究力を測ることに向き合う
- RUC 好事例集第 2 部「研究力分析とデータベース」
- プロダクトレビュー×2

一般発表／公開講座

ライフサイエンス (13:45～14:35)

- MEDLINE 収録国内医学雑誌の経年分析
- OUG ライフサイエンス分科会 公開講座

特別講演②

(14:50～16:20)

「Infopro in the future ～インフォプロの終身成長に向けて～」

旭化成株式会社 中村 栄 先生

INFOSTA 表彰式

(16:30～17:00)